

## ＜令和7(2025)年度公募における主な変更点等＞

## (1) 審査資料の電子化及びカラー化について

○新たに「奨励研究」の研究計画調書をカラーで受け付けることとしました。これに伴い、審査委員は電子申請システムを通じてカラーの研究計画調書（PDFファイル）を閲覧し、審査を行うこととなります（研究計画調書をモノクロ（グレースケール）印刷して審査委員に送付することを取りやめます。）。

## (2) 研究活動スタート支援及び奨励研究の審査方式の変更について

○令和6(2024)年度から、「研究活動スタート支援」及び「奨励研究」の審査方式を2段階書面審査から一度の書面審査で採否を決定する審査方式へ変更しました。このことにより、早期の審査結果の通知が可能となり、研究活動スタート支援については、採択されなかった場合であっても、審査結果通知後、基盤研究等への応募のために必要な準備期間を確保することが可能となります。

## (3) 奨励研究の応募書類提出後のスケジュールの変更について

○令和7(2025)年度奨励研究について、審査方式が変更となったことに伴い、応募書類提出後のスケジュールが変更となります。

奨励研究	
令和6(2024)年10月～12月	審査
令和7(2025)年1月下旬	審査結果の通知
4月上旬	交付内定
4月下旬	交付申請
4月頃	審査結果開示
6月上旬	交付決定
7月中旬	補助金の送金

## (4) 研究インテグリティについて

○「研究インテグリティの確保に係る対応方針について」（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）等を踏まえ、研究活動の透明性

の確保のため、必要な対応を実施しています。

令和7(2025)年度公募においても引き続き、研究活動の透明性の確保に係る情報について、研究計画調書に記載することとしています。

(5) 研究データマネジメントについて

○令和6(2024)年度から、原則全ての研究種目において研究データマネジメントプラン(DMP)の作成を求めます。DMPの作成例等の詳細は交付内定時に示しますので、当該内容に沿って研究課題における研究成果や研究データの保存・管理等を行ってください。